

留学体験作文

チョウ ウカン
(台湾、開南大学)

留学期間はあっという間に過ぎていきました。日本へ来てから、不安なことがあったけど、楽しいことも数え切れないほどありました。海外で一人の生活が怖かったですが、優しくて親切な先生たち、チューターさん、クラスメイトのおかげで、すぐ、留学生活に慣れました。毎日日本語を勉強して、とても充実しました。

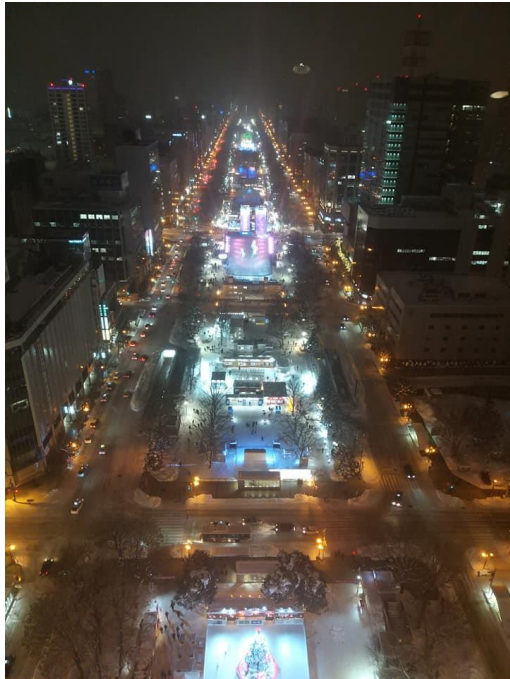
猫が大好きな私は、休みの日はよく猫カフェに遊びに行きました。そして、寮の近くにいる人懐っこい野良猫も仲良くなりました。あの猫はハチワレ猫で、とても可愛いです。春休みの時、北海道へ旅行しました。初めて北海道へ行って、初めて一人でホテルに泊まって、いろいろな初めてのことを経験しました。夜の雪まつりは綺麗でした。寒いですが、お酒を飲みながら雪像や氷像を見て、体がだんだん暖かくなりました。雪まつり以外、白い恋人パークや狸小路商店街などのところも行きました。大阪や京都も行こうと思っていましたが、新型コロナウイルスのせいで、行けなくなりました。

学校が始まる日も4月から5月になりました。厳しい状況になってから家族は私に台湾へ帰ってほしいですが、また日本にいて、留学生活を続けたいと思いました。出かけることが怖いので、ずっと寮にいました。せっかく日本へ来ました、残念ですが、安全のためしょうがないことです。春休みが終わって、学校も始まりました。最初はオンライン授業に慣れなくて、皆さんも会えないのは寂しかったです。しかし、いいこともあります。満員電車に乗らなくてもいいし、発表の時も緊張しなくなりました。そして、一番嬉しいことは、皆さんが無事で本当に良かったです。

もし、台湾へ来たら、ぜひ私に連絡してください。谷口先生今までいろいろお世話になり、ありがとうございました。先生のおかげで、留学期間は毎日楽しんで過ごしました。もうすぐ帰国します。この一年間本当にありがとうございました。縁があれば、またどこかで会いましょう。



寮の近くの野良猫



雪まつり



白い恋人パーク